

(図中に描かれた台本の文字)

一^笠ハテ心得ぬ雪おとしげき

此山中人氣とうくとたち

のほるは扱は此ほとより

待もふけたる稀人の

来りしよな○ノウノそ

れにたゝすみ候は旅人

にては候わずや

一^無成程拙者ひこの国の

浪人子細有て諸国へん

れきの武者修行此大

雪にぜんこをぼうじ道案

内のとうじはぐれなやみつ

かれし此山中

一^笠其どつじこそ身がさしつ

ものたらわず共一宿は

ころろ

まかせ

▲^無夫は千万忝なし

修行の身なれば

なにかいとわん

●^笠一樹のかげ

▲^無一河のながれ

●^笠それは雪の軒ふりて

▲^無うきみながらの仮まくら

●^笠サゝ是へく

▲^無然らば御めん

▲^{上るり}しからば御免と宮本無

三四細谷川を飛越く

庵間近く入来り

●^笠それごとくじわらじきといて上升せ